

終末(イエス・キリストの再臨)

原田元道

終末の意味・目的

- この世は本来あるべき姿ではない
 「神はアダムに向かって言われた。『お前は女の声に従い／取って食べるなど命じた木から食べた。お前のゆえに、土は呪われるものとなった。お前は、生涯食べ物を得ようと苦しむ。お前に対して／土は茨とあざみを生えいでさせる／野の草を食べようとするお前に。お前は顔に汗を流してパンを得る／土に返るときまで。お前がそこから取られた土に。塵にすぎないお前は塵に返る。』」(創世記 3:17-19；比較：ローマ 5:12; 8:22)
- 神は世を本来あるべき姿に戻される(救い)
 「つまり、アダムによってすべての人が死ぬことになったように、キリストによってすべての人が生かされることになるのです。ただ、一人一人にそれぞれ順序があります。最初にキリスト、次いで、キリストが来られるときに、キリストに属している人たち、次いで、世の終わりが来ます。そのとき、キリストはすべての支配、すべての権威や勢力を滅ぼし、父である神に国を引き渡されます。キリストはすべての敵を御自分の足の下に置くまで、国を支配されることになっているからです。最後の敵として、死が滅ぼされます。」(Iコリント 15:22-26)
 「そのとき、わたしは玉座から語りかける大きな声を聞いた。『見よ、神の幕屋が人の間にあって、神が人と共に住み、人は神の民となる。神は自ら人と共にいて、その神となり、彼らの目の涙をことごとくぬぐい取ってくださる。もはや死はなく、もはや悲しみも嘆きも労苦もない。最初のもものは過ぎ去ったからである。』すると、玉座に座っておられる方が、『見よ、わたしは万物を新しくする』と言い、また、『書き記せ。これらの言葉は信頼でき、また真実である』と言われた。」(黙示録 21:3-5)

⇒この世の終わりは新しい世の始まり

イエス再臨の特徴

- イエスは肉体をもって再臨する
 「(白い服を着た二人の人が)言った。『ガリラヤの人たち、なぜ天を見上げて立っているのか。あなたがたから離れて天に上げられたイエスは、天に行かれるのをあなたがたが見たのと同じ有様で、またおいでになる。』」(使徒 1:10)
- イエスは大いなる力と栄光を帯びて再臨する
 「そのとき、人の子の徴が天に現れる。そして、そのとき、地上のすべての民族は悲しみ、人の子が大いなる力と栄光を帯びて天の雲に乗って来るのを見る。人の子は、大きなラッパの音を合図にその天使たちを遣わす。天使たちは、天の果てから果てまで、彼によって選ばれた人たちを四方から呼び集める。」(マタイ 24:30-31；比較：マタイ 25:31)
- イエスは誰もが分かる形で再臨する
 「『見よ、あそこだ』『見よ、ここだ』と人々は言うだろうが、出て行ってはならない。また、その人々の後を追いかけてもいけない。稲妻がひらめいて、大空の端から端へと輝くように、人の子もその日に現れるからである。」(ルカ 17:23-24)
- イエスは思いがけない時に再臨する
 「その日、その時は、だれも知らない。天使たちも子も知らない。父だけがご存じである。気をつけて、目を覚ましていなさい。その時がいつなのか、あなたがたには分からないからである。」(マルコ 13:32-33)
- イエスが再臨するときこの世は終わる
 「それと同じように、あなたがたは、これらすべてのことを見たなら、人の子が戸口に近づ

いていると悟りなさい。はっきり言うておく。これらのことがみな起こるまでは、この時代は決して滅びない。天地は滅びるが、わたしの言葉は決して滅びない。」(マタイ 24:33-35)

⇒世が終わるのはイエスが再臨するとき

イエス再臨時の出来事(復活と最後の審判)

- ・ 人はイエスの再臨とともに復活して裁きを受ける
 「最後のラッパが鳴るとともに、たちまち、一瞬のうちにです。ラッパが鳴ると、死者は復活して朽ちない者とされ、わたしたちは変えられます。」(I コリント 15:52 ; 比較 : I テサロニケ 4:16-17)
 「また、裁きを行う権能を子にお与えになった。子は人の子だからである。驚いてはならない。時が来ると、墓の中にいる者は皆、人の子の声を聞き、善を行った者は復活して命を受け、悪を行った者は復活して裁きを受けるために出て来るのだ。」(ヨハネ 5:27-29)
- ・ 再臨したイエスは審判者として真実で正しい裁きをくださす
 「人の子は、栄光に輝いて天使たちを皆従えて来るとき、その栄光の座に着く。そして、すべての国の民がその前に集められると、羊飼いが羊と山羊を分けるように、彼らをより分け、羊を右に、山羊を左に置く。」(マタイ 25:31-33)
 「わたしはまた、祭壇がこう言うのを聞いた。『然り、全能者である神、主よ、あなたの裁きは真実で正しい。』」(黙示録 16:7 ; 参照 : ヨハネ 5:27)
- ・ イエスに対する信仰が判決を分ける
 「また、わたしに言われた。『事は成就した。わたしはアルファであり、オメガである。初めであり、終わりである。渇いている者には、命の水の泉から価なしに飲ませよう。勝利を得る者は、これらのものを受け継ぐ。わたしはその者の神になり、その者はわたしの子となる。しかし、おくびょうな者、不信仰な者、忌まわしい者、人を殺す者、みだらな行いをする者、魔術を使う者、偶像を拜む者、すべてうそを言う者、このような者たちに対する報いは、火と硫黄の燃える池である。それが、第二の死である。』」(黙示録 21:6-8)

⇒世の終わりには救いが完成

まとめ(終末)

- ・ この世の終わりは新しい世が始まる時
 ←神の愛と恵みと真実さに信頼する
- ・ この世の終わりはイエスが再臨するとき
 ←いつ再臨しても良いように気を付けて目を覚ます
- ・ この世の終わりは救いが完成するとき
 ←復活のからだに正しい裁きを待ち望む

「以上すべてを証しする方が、言われる。『然り、わたしはすぐに来る。』アーメン、主イエスよ、来てください。」(黙示録 22:20)

神の愛と恵みと真実さに信頼しつつ
 主イエスの再臨を待ち望むことができますように